

新治中部地区

新治中部地区別計画推進委員会

地域 中山町、上山1~3丁目、寺山町、森の台、台村町

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成された。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設がある。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり緑豊かな環境となっている

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

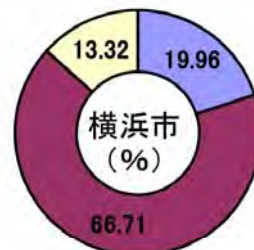
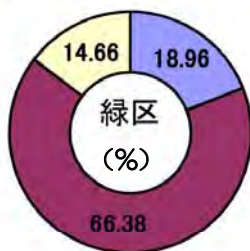
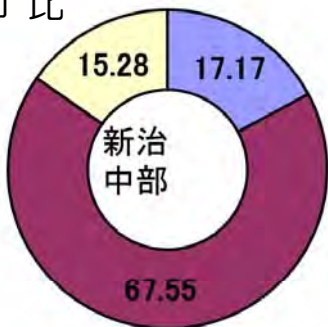
地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

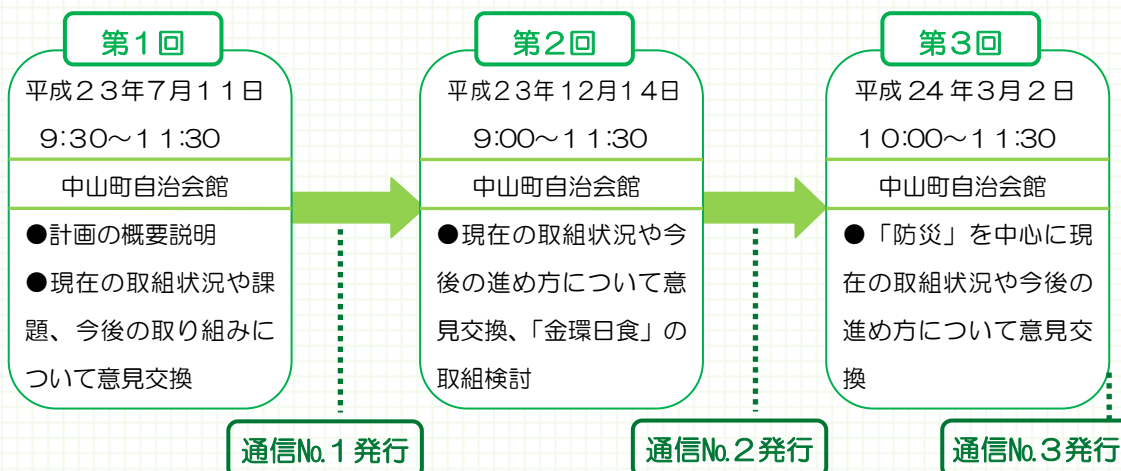


75歳~	2,487人
65~74歳	3,046人
15~64歳	21,773人
6~14歳	2,967人
0~5歳	1,959人
合計	32,232人

75歳~	14,370人
65~74歳	19,186人
15~64歳	117,467人
6~14歳	16,000人
0~5歳	9,942人
合計	176,965人

75歳~	336,653人
65~74歳	403,089人
15~64歳	2,472,006人
6~14歳	300,920人
0~5歳	192,789人
合計	3,705,457人

地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成23年度地区別計画推進状況



新治中部地区

台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成



防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

新治中部地区防災会議（連合町内会と4地域防災拠点合同）を開催し、発災時の連絡手段の構築、情報伝達、食料の確保等について話し合いました。

今後も年2～3回開催していきます。

避難生活宿泊体験を実施し子ども達180名が参加。また、要援護者を援助するサポーター制度・特務班の編成・ささえあい班を立ち上げた自治会、防災ハンドブックを作成し配付した自治会、食料備蓄推進など各自治会で防災に取り組みました。



<中山小学校>



<森の台小学校>



<中山中学校>



<上山小学校>



（写真左：避難生活宿泊体験
「竹灯籠でキャンドルファイヤー」）



<台村・森の台自治会>

（写真：4地域防災拠点及び自治会の訓練の様子）

さらに、防犯パトロールにも力を入れ、防犯・防災に強い安心できるまちづくりに取り組んでいます。

次世代につながるまちにしたい

つながりをつくるために始めた「新治中部ふれあいフェスティバル」も14回目となり、「地域でお世話になったので、地域に協力したい」という学生も出てきました。各自治会も運動会や秋まつり等の行事を通して多世代と交流を深めています。ホームページをもつ自治会もあり、若い世代が地域に興味を持つきっかけとなっています。



（写真上：「新治中部ふれあいフェスティバル」
（写真下左：「運動会」、右「秋まつり」）

今後も各学校と地域で次世代につながるまちづくりに取り組んでいきます。

みんなで力を合わせて 次世代につながる地域づくりを！



新治中部地区別計画推進委員会



新治中部地区別計画推進委員会
平成23年8月発行

新治中部 地区別計画推進委員会通信 No.1

みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）の新治中部地区別計画の推進に向けて、平成23年7月11日（月）中山町自治会館で、「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、25人の委員の出席があり、現在の取り組み状況や課題、今後取り組みたいことについて意見交換を行いました。

★みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』で、区計画と地区別計画の2本立てになっています。

この中の「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では11連合自治会ごとに定めています。

平成22年度に地区別計画策定委員会が中心となって「地区別計画」を策定しました。平成23年度からは新治中部地区別計画を地域の皆様と共に推進していきます。

新治中部地区別計画

防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画を一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

次世代につながるまちにしたい

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
⇒・顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
・運動会などの地域イベントを通じて仲間づくりをしていく。
・防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める等。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。

みんなで力を合わせて **次世代につながる地域づくりを！**



★新治中部地区別計画推進委員会とは…

新治中部地区の自治会、学校、福祉保健団体などの代表29名が、「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行っていきます。

第1回 新治中部 地区別計画推進委員会では、活発に意見交換を行いました！

3月11日の東日本大震災の影響もあり、発災時対応への関心が高く、防災についての意見がたくさん出ました。

■防犯・防災に強い、安心できる街にするには・・・

～防災について～

現状

- 回覧、掲示などで防災訓練への参加を呼び掛けているが参加者が少ない。
- 日中は、町に現役世代（防災の担い手）がいない。
- 小学校・中学校に協力を求め、炊出し等に参加してもらっている。

今後取組みたいこと・・・災害時の人材確保、地域・学校等の連携

- 若い人の防災に対する考えを聴くために、「学校・家庭・地域連携事業委員会」で意見交換したい。
- 一人暮らし高齢者、高齢者世帯が多いので、高齢者の避難システムづくりが必要である。
- 中学生を含めた4地区合同防災訓練実施を目指し、4か所の地域防災拠点の連絡会を開催したい。
- 日中の発災時（現役世代不在時）、中学生の力を活かしたい。
- 小・中学生の学年に応じた役割（できること）を考えたい。
- 発災時に備え、ボランティアコーディネーターを養成したい。
- 小・中学生、若い人と地域とのつながり意識を高めていくためにも、住民同士の声かけ、近所づきあいを大切にしたい。

～防災の意識について～

- 被災地の現状を知り防災意識を高める。
- 災害時、各々の立場で「何をすべきかを考える力」を身につけたい。
- 子ども達の防災訓練への参加意欲をひきだしたい

～防犯について

- 地域と学校の情報共有が大切である。
- 不明者が見つかった時の連絡体制が課題である。
- 学校・PTA・保護者・地域がそれぞれできることについて考えていきたい。

■次世代につながるまちにするには・・・

- 定期清掃、防犯パトロール、地域のイベントなど、すでに取り組んでいる活動を継続・発展させていく。

★秋の防災訓練終了後、新治中部地区にある4つの地域防災拠点関係者が集まり、目標達成に向けた具体的な進め方を検討します。



<連絡先>新治中部地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2352
緑区 福祉保健課長 津田



新治中部地区別計画推進委員会

平成24年1月発行

新治中部 地区別計画推進委員会通信 No.2

新治中部地区は、台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成

緑区地域福祉保健計画(みどりのわ・ささえ愛プラン)の新治中部地区別計画の推進に向けて、平成23年12月14日(水)中山町自治会館で、「第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画推進委員会」を開催しました。

自治会、学校、福祉保健団体の代表である委員からなる地区別計画推進委員会で、現在の取り組み状況や今後の進め方について活発な意見等が出されました。

◆ 「緑区地域福祉保健計画(みどりのわ・ささえ愛プラン)、新治中部地区別計画」とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン(愛称)」は、わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように、区民の方々や団体・事業所の皆様、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあいまちづくりを進めていくための、『緑区地域福祉保健計画』で、区計画と地区別計画の2本立てになっています。

この中の「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では連合自治会ごとに定めています。

平成22年度に新治中部地区別計画策定委員会が中心となって「地区別計画」を策定しました。平成23年度から新治中部地区別計画を地域の皆様と共に推進しています。

◆ 新治中部地区別計画推進委員会とは…

新治中部地区の自治会、学校、福祉保健団体などの代表29名が、「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

平成23年度は3回開催します。

新治中部地区別計画

防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画を一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

次世代につながるまちにしたい

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
⇒・顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
・運動会などの地域イベントを通じて仲間づくりをしていく。
・防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める等。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。

みんなで力を合わせて **次世代につながる地域づくりを!**



第2回 新治中部 地区別計画推進委員会で出された意見等紹介します！

■防犯・防災に強い、安心できる街について・・・

～防災～

取組んでいること

- 新治中部地区防災会議（連合自治会と4地域防災拠点合同、平成23年11月29日開催）
 - ◆各地域防災拠点の組織、訓練内容の報告
 - 発災時の連絡手段の構築を図る必要性（例：MCA 防災無線の活用・中山町自治会）
 - 東日本大震災でボランティア活動をした方の話を伺い防災意識を高めた。（森の台小、上山小）
 - ◆各学校からの防災訓練状況報告
 - 情報の伝達、子どもの引き取り方法、食料の確保等の課題抽出と対応について。
 - 生徒の地域防災訓練への参加を推進。
 - ◆今後、年2～3回 定期的に防災会議を開催していく。
- 要援護者を援助するサポーター制度、特務班の編成、ささえあい班を上げた。（中山町自治会）
- 「自助」の観点から、各家庭で3日間の食料備蓄を呼びかけている。（上山自治会）
- 初期消火訓練や防災出前講座を実施した。防災委員の固定化を検討したい。（台村・森の台自治会）
- 避難生活宿泊体験をおこない、子ども達約180名が参加した。
- グループホームの防災訓練に参加した。（台村・森の台自治会、寺山町自治会）
- 防災ハンドブックを作成し、小型懐中電灯とともに各世帯に配布した。（寺山町自治会）

今後取組むこと・・・災害時の人材確保、地域・学校等の連携

- 平成24年2月24日に第2回防災会議を開催し、課題の解決に向け意見交換・情報共有を行い、これを受け、第3回地区別計画推進委員会を開催する。
- 災害時に中学生ができることを検討する。

～防犯～

取組んでいること

- 防犯パトロールを実施している。
- 防犯ポスターを作成。子ども達が防犯について考える機会となっている。（中山小、上山小）

今後取組むこと

- 平成24年度 地区別計画推進委員会で取組む。

■次世代につながるまちについて・・・

取り組んでいること

- 行事（そうめん流し、門松作り等）を通じて子ども達とつながりを持っている。
- 多世代と行事（運動会・盆踊り・秋まつり等）を通して交流を深めている。
- ホームページを開設、若い世代が地域に興味を持つ契機となっている。（中山町自治会）
- 「つながり」をつくるために始めた『新治中部ふれあいフェスティバル』も14回目となった。
- 「地域で御世話になったので、地域に協力をしたい」という学生が出てきた。

今後取り組むこと

- 平成24年5月21日の「金環日食」に各学校と地域で協働のイベントを計画する。



★次回の第3回 地区別計画推進委員会は
平成24年2月下旬に開催します。

★重点テーマは『防災』です！

<連絡先>新治中部地区別計画推進委員会
事務局 TEL：930-2352
緑区 福祉保健課長 津田



新治中部地区別計画推進委員会

平成24年3月発行

新治中部 地区別計画推進委員会通信 No.3

新治中部地区は、台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の新治中部地区別計画の推進に向けて、平成24年3月2日（金）に「第3回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画推進委員会」を開催しました。

防災を中心に、現在の取り組み状況や今後の進め方について活発な意見が出ました。

◆ 緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の「新治中部地区別計画」とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン（愛称）」は、わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように、区民の方々や団体・事業所の皆様、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあいまちづくりを進めていくための、『緑区地域福祉保健計画』で、区計画と地区別計画の2本立てになっています。

「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている生活課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では連合自治会ごとに策定しています。

平成22年度に新治中部地区別計画策定委員会が中心となって「地区別計画」を策定しました。平成23年度から地域の皆様と共に推進しています。

◆ 新治中部地区別計画推進委員会とは…

新治中部地区の自治会、学校、福祉保健団体などの代表29名が、「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

平成23年度は3回開催しました。次回は、5、6月頃に開催します。



新治中部 地区別計画

防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい

- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画を一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

次世代につながるまちにしたい

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
⇒ 顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
・ 運動会などの地域イベントを通じて仲間づくりをしていく。
・ 防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める等。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。



みんなで力を合わせて 次世代につながる地域づくりを！

第3回 新治中部 地区別計画推進委員会では「防災」を中心に話合いました

防災

新治中部地区第2回防災会議の報告 (平成24年2月24日開催)

防災会議(連合自治会と各4地域防災拠点合同)は、地区別計画推進委員会の部会を兼ねる。

- ◆4地域防災拠点の運営委員参集は「震度5強」以上の発生時とする。
- ◆各地域防災拠点、学校間の連携を強化する。まず、中山中学校・小学校地域防災拠点間で発災時に強いといわれているMCA無線を活用できるよう検討する。
- ◆地域防災拠点訓練に協力依頼があった場合はお互い前向きに対応する。



中山小学校「救護訓練」

地域防災拠点の取組み・意見

- ◆日頃の顔の見える関係が大切である。
- ◆防災訓練への参加者を増やす工夫をしていきたい。
- ◆発災時救護訓練に一層力を入れていく。(台村・森の台自治会)
- ◆車椅子を購入した。(中山町自治会)
- ◆防災頭巾やヘルメット等を準備するよう勧めていきたい。(寺山町自治会)
- ◆近隣に安否確認を受け付ける場所があるとよい。



上山小学校「竹ドーム」

防災ささえ愛カードの取組み・意見

- ◆防災訓練時に防災ささえ愛カードに登録している要援護者の安否確認をした。今後、さらに迅速に確認できるよう検討していく。(上山自治会)
- ◆要援護者情報を4段階に分け、マップを作成した。災害時に備え、要援護者(黄色)と支援者(緑色)にパンダナを配布した。(中山町自治会)
- ◆3・11震災後安否確認を実施し、高齢者に計画停電等必要な情報を周知した。
- ◆要援護者が実際に拠点まで避難できるよう、支援方法を検討したい。(台村・森の台自治会)
- ◆防災ささえ愛カードの登録更新は2年に1回だが、高齢者情報の変化は速い。
- ◆訓練時に防災ささえ愛カードを活用するには、登録時に了承を得ておく必要がある。

学校の取組み・情報提供等

- ◆災害時デマに惑わされないためには、火災発生等正確な情報を緑区から直接受信したい。一校長室・職員室と緑区を繋ぐデジタル無線やその情報を共有できるスピーカーを活用する。
- ◆食料備蓄に取り組む。

つながり

金環日食イベントの取組み

- ◆各学校で金環日食の観察会を開催するので、各自治会も一緒に取り組む。



金環日食プロジェクトロゴマーク

金環日食

平成24年5月21日 午前7時半頃に
首都圏では173年ぶりに観測できます。



★次年度 地区別計画推進委員会では防犯についても話し合います。



<連絡先> 新治中部地区別計画推進委員会
事務局 緑区 福祉保健課長 津田
TEL: 930-2352